

『笑顔がスタートライン』

～人権研修会を行いました。～



暑さが幾分和らぎ始めた8月9日夕刻。エスペランサ・コレジオのある鶴崎公民館の第3講義室は、いつもに比べ張り詰めた空気が漂っておりました。この日、「幸せ宅配便」ハッピー里ちゃんこと須藤里美さんを講師に迎え、エスペランサ・コレジオ職員と各コースの講師の皆さんに参加をいただきまして、第1回人権研修会を開催いたしました。講演のタイトルは『笑顔がスタートライン』。須藤さんは自らセラピストでもある絵本の読み聞かせを講演の中に取り入れ、時折ワークショップも交えながら、**自分を好きになると行動が変わること、自分を好きになるには自分の良さが強みになること、そして自己肯定感があがってくると、それがやる気に繋がり、ひいては自己実現に繋がるということ**を、自分の経験をもとに話してくださいました。約1時間の研修でしたが、参加者全員から「大変有意義で楽しい時間を共有でき、とにかく須藤さんから元気と笑顔をもらった。」という感想をいただきました。須藤さん、大変ありがとうございました。次回は12月に同じく須藤さんをお招きして、今度は学生を対象にした人権研修会の開催を計画しております。

【参加者の感想文からの抜粋】

「言葉のマジック」のような講演をありがとうございました。一つの言葉がけも言い方によって自分の気持ちも相手の気持ちにもマジックがかかる。頭のスイッチを優しいスイッチに、いつでもできるように心がけたいと思います。「25%でほめること。」これも心がけます。ゆっくりゆっくり育てていくことの大切さも学びました。ありがとうございました。



できないことや苦しく辛いことばかりに目が向きがちですが、良い方向に捉えて考える思考を身につけたら、講師の方のように明るく元気に過ごせるのではないかなと思いました。そして、ついできないことから目をそむけてチャレンジする気持ちをなくしていたように思うので少しずつでも色々なことに挑戦していきたいと思います。一日とも同じ日はないという言葉通り、二度とない今日を大事にして過ごしていきたいです。

8月は差別をなくす運動月間です。

大分県では8月を『差別をなくす運動月間』として同和問題の解決に向けて取組んでいます。これは『同和問題の解決は国の責務であり国民的課題である。』ことを明らかにした国の同和对策審議会答申が昭和40年8月に出されたことによるものです。大分市でもこの期間中に様々な取組が行われております。本校でも上記のように、人権研修会を開催致しました。この機に、皆さん一人ひとりの思いで人権・同和問題の解決につなげていきましょう。

